



第58回定期戦(対県立西宮高等学校)



定期戦の主役は15の運動部の生徒たちですが、その応援は芦高の名誉をかけて、全自治会員(全生徒)で行います。本年度の定期戦は県立西宮高校が主催ということで自治会執行部はのんびり構えていました。ところが書記外局である応援団リーダー部の部員が2月にゼロとなったため、急遽自治会執行部のメンバー4名が応援団リーダーとなり、4月に入学した一年生からなる定期戦実行委員16名とともに応援の練習を重ねてきました。開会式応援合戦では、執行部美化補佐の女子生徒が学生服姿でリーダーとして登場し、「右手を県西に指さしー!」の高らかな声とともに、応援歌が歌われました。その声が、芦高の選手たちに響いたので、見事9種目で勝利しました。奮闘した生徒はもちろんですが、通算成績32回目の優勝杯を引き寄せた応援にも拍手を送ります。

生徒課長 遠藤小百合

《時間割例》

2年次

	月	火	水	木	金
1	★			◎	★
2		★	◎		
3		◎	★		
4		★			◎
5	◎		◎	★	
6	★				
7					LHR

3年次

	月	火	水	木	金
1	★			◎	
2					
3		◎			
4		★			◎
5	◎				
6				★	
7					LHR

★必修科目 ◎選択必修科目

は選択科目

科目履修登録

単位制の本校では、2・3年次の選択科目の履修登録を1年次に行います。キャリア教育や自己実現を目指す『芦高タイムα』という授業を通して、各自の進路目標を明確にし、それぞれの進路実現に必要とする科目・学んでみたい科目を選択します。その際、2年間を継続して学ぶ授業や2・3年同時に学ぶ授業があったり、どちらかの年次でしか選択できないものがあったりといった点に注意して選択する必要があります。

左の《時間割例》のように、2年・3年とも選択科目の時間が非常に多く、クラス単位での授業がとてま少なくなります。そのため、少人数での授業できめ細かく丁寧な指導を受けることができます。



土曜日勉強会



十数年前、当時のOB・OGの大学生から後輩たちの勉強を手伝いたいと始まった『土曜日勉強会』の開講式が先日行われました。定期考査前・中の土曜日に、普段は部活動に懸命な生徒たちや、より一層のステップアップを目指す生徒たちが集まり、先輩たちに積極的に質問をすることができます。朝9時から12時までの3時間、さまざまな質問に答えてくれる先輩たちの温かい姿に答えるべく、本校生徒の研鑽の様子がうかがえました。毎年現役大学生が10名ほど講師登録をし、年間10回程度の実施予定です。

芦高 Topics

運動部幹事長 宮崎奨功



本校の部活動には、部長の他に『幹事』という役職があります。主に部活内の取りまとめ役として、部員が練習に専念できるように練習日程などを調整したり、校則やマナー違反を注意したりといった部内全体に目を配る、とてもやりがいのある存在です。

私は運動部幹事長(各運動部の幹事から選出)という役割を担い、体育大会や球技大会で自治会執行部とともに運営に参加しました。先日の県立西宮高等学校との伝統ある定期戦では、前年の勝利を引き継ぐべくそれぞれの運動部幹事らを中心として気合の入った戦いを目指しました。その結果、本校が今回も勝利をおさめることができ、とてもうれしいです。自治会執行部をはじめ、文化部の協力や多くの友人らの声援のおかげで、無事に定期戦を終えることができました。

